

第47回九州保育団体合同研究集会 佐賀集会

集会テーマ

伝えあおう つながろう
みんなの笑顔のために



第47回九州保育団体合同研究集会 佐賀集会のご案内

実行委員長 田口香津子 (佐賀女子短期大学 副学長)

「伝えあおう つながろう みんなの笑顔のために」この佐賀集会のテーマは、きっと、第1回目から連帯のバトンを丁寧につないできた実行委員や参加者の皆さんの想いそのもののように思えます。どの時代も切実な課題があったはず。子どもを真ん中に悪戦苦闘しながらも育ちあえる関係性を模索する保育者や保護者たちが集い、大いに語り、最後には笑顔になり、元気や勇気を蓄えて、また、悪戦苦闘の日々に戻っていかれた姿が目に見えます。誰かと真摯につながろうとする姿勢は、私たちに笑顔ばかりをもたらしてはくれません。地域へ世界へと目を開くほどに目を覆いたくなるような厳しい現実が見えてきます。世界中で起きている民族紛争、難民問題、震災や原発事故、貧困、虐待……。暴力や差別のなかで声を挙げられない人々は実に多くいるのです。自分以外の他者とつながるために必要なものは、想像力と痛みとの共有かもしれません。苦しみを分かち合える共感性があるから、生きる喜びも分かち合えるのでしょう。私たち一人ひとり、微力であっても無力ではありません。子どもが生きる喜びと希望を持てる未来こそが、なによりも私たち自身の生きる喜びと希望です。子どもも大人も、遊び、笑い、食べ、眠り、歌い、語り、安心で平和な暮らしの大切さに立ち戻りましょう。自分の想いを伝えあいましょう。繋がります。皆様、佐賀でお待ちしています。

日程

2017年9月9日(土)～10日(日)

- 9月9日(土) 13:00～ 佐賀市文化会館 <佐賀市日の出1丁目21-10>
16:15～ 佐賀市文化会館・アバンセ <佐賀市天神3丁目2-11>

※受付は、佐賀市文化会館です。アバンセでの講座からご参加の方はアバンセ ホールで受け付けます。

受付	開会集会 歓迎行事 基調提案	記念講演	移動	講座 <ア～カ>	移動	分科会打ち合わせ (提案者と運営委員)
12:00	13:00	14:00	15:45	16:15	18:00	18:30
						特別企画 (希望者)
19:45						

- 9月10日(日) 9:00～ 佐賀大学本庄キャンパス <佐賀市本庄町1>教養教育1号館・教育学部1号館・経済学部講義棟
精幼稚園 <佐賀市与賀町64>

※受付は佐賀大学教養教育1号館1階玄関です。保育室と⑫子どもの生活と音楽」の受付は精幼稚園です。

分科会・交流会	昼食	分科会・交流会 (午前中の続き)	移動	閉会集会
市民講座Ⅰ		市民講座Ⅱ		
9:00	12:00	13:00	14:50	15:00
15:40				

9日(土) 13:00～14:00

●歓迎行事

手作り感あふれる歓迎行事です。オープニング前から始まりますよ。みんなで笑って、みんなで歌いましょう！

●基調提案

基調提案では、九州合研大分集会で出された実践提案をもとに、今の子どもの姿と保育者の関わり、家庭や地域の現状をとらえつつ、保育の手立てや子育て支援のあり方、保育制度・情勢の動向と課題などについて提起いたします。参加者皆さんと一緒に学び語りあっていきましょう。

9日(土) 14:00～15:45

●記念講演『絵本と紙芝居の魅力と力

－創作の舞台裏から－

●講師 長野ヒデ子 (絵本作家)

『とうさんかあさん』『おかあさんがおかあさんになった日』『せとうちたいこさん』シリーズなどの絵本や、『ねこのたいそう』『おとうふさんとそらまめさん』など紙芝居も多数作品があります。その作品はあかちゃんからおとなまで年齢や男女を問わずみんなを笑顔にしてくれます。そして、いのちや平和、自然へのメッセージを伝えてくれます。

この講演では絵本や紙芝居をたくさん紹介していただきながらその作品の舞台裏にある長野ヒデ子さんの思いをお話していただきます。

講座 9月9日(土) 16:15～18:00

佐賀市文化会館(工、オ)・アバンセ(ア、イ、ウ、カ)

ア 集団づくり入門講座

「保育現場でどう「集団づくり」を取り組むか?～異年齢保育・同年齢保育の実践より～」
大石八重(熊本保問研 院内保育所ばぼ保育園保育士)
古庄範子(熊本保問研 公立保育園保育士)

集団づくりは、保育者がいつも引っ張っていくのではなく、子どもたち自身が自分たちの力で、考え、話し合い、遊び、生活していく活動です。

異年齢保育を行う園も少しずつ増えてきているなか、異年齢で「集団づくり」は必要ないの?異年齢でどうやって取り組んだらいいの?という疑問も多く聞かれます。異年齢でも同年齢でも、自分たちで楽しい活動はもっと楽しく、トラブルはみんなで考えて話し合っ、過ごしやすい、過ごしやすい保育を考えていきます。その楽しい実践から、これからの保育のヒントを皆さんと見つけ出したいと思っています。

イ 乳児保育入門講座

「乳児の思いに寄り添った関係づくりをめざして」 田中 洋(大分大学・大分保問研)

0歳児保育分科会において、次のようなことがよく話題に出ます。「おむつ替えの時にいつも大泣きされる」「なかなか一緒に食べてくれない」など、保育者一なかでも若手保育者の「悩み」や「こまり」を耳にします。

保育者の「このように関わりたい」という願いと乳児の「こうしてほしい」という思いがうまくかみ合わずに、「悩み」や「こまり」になっているようです。その一方で、乳児と保育者との間にほどよい関係ができあがると、「保育が楽しくなった」という声が聞かれるのも事実です。

乳児は「内面世界に豊かな可能性を秘めた存在」だといわれますが、われわれは彼らがいかに思いをどのように捉えていけばよいのでしょうか。そのことについて、0歳児分科会の提案などに基づいて、みなさんと一緒に考えていきたいと思っています。

ウ 保育情勢講座

「保育士の処遇の実情と保育士確保困難問題を考えるーこの20年の子育て支援策の中で放置されてきた保育士の処遇問題ー」 講師 村山 祐一(保育研究所)

近年の深刻な待機児童問題の要因の一つとして保育士不足問題がクローズアップされています。正確には「保育士確保困難問題」です。保育士不足には、教材準備や記録、研修等に要する時間が労働時間に位置づけられていないことや給与が一般女子労働の平均より低いなど、保育士の処遇問題が関わっています。2000年以降保育士処遇はますます後退傾向にあります。

この講座では、保育士の処遇問題に焦点をあて、その抜本的改善のために何が必要なのかを考えていきます。

エ 障がい児保育講座

「「気になる子」が変わるときー困難をかかえる子どもの発達と保育」

講師 木下 孝司(神戸大学)

「気になる子」や障害のある子どもの保育で悩むことがあります。そんなとき、どうしてもところに目をつけて事実を拾い、クラスや園内で話し合いをしていくと、子ども理解が深まるのかについてお話ししたいと思います。そうやって、子どもの願いや悩みを想像してみるだけで、保育は少しずつ変わっていくはずですよ。

特別支援保育というと、ハウツー的な技術が語られやすいのですが、保育者の皆さんには「保育」を大切にいただきたと願いつつ、2016年度「ちいさいななま」の連載に即しながら、ライブならではの講座となればと思います。

オ 家庭支援講座

「子どもの貧困と家庭支援」 講師 土井 高德(土井ホーム)

土井ホーム(北九州市)では、虐待と発達障害が重複し、その二次障害として精神症状や身体症状、あるいは非行などを表している青少年を受け入れ、生活全体を通じて自立支援を行っている。その親子再統合は極めて困難であるが、家庭復帰のためにはその親や家庭支援は欠かすことが出来ない。そうした家庭の経済的困窮と孤立(関係性の困窮)を社会関係資本の観点からマクロ・メゾ・ミクロの各段階で分析し、事例の紹介を通じて、社会的包摂のあり方、希望と連帯の社会のあり方について考えてみたい。

カ 保育リフレッシュ講座

「心の育ちから見た人間理解」 講師 吉村 春生(西九州大学非常勤講師・臨床心理士)

人間とは、「人の間」と記すように、人は、日々の関係性の中で、幸せになったり、不幸になったりする生き物であると言えそうです。そこで、今回の講座では、日々の関わりが少しでもよくなることを目的に、「人間理解」を、心のしくみや育ち、発達障害等に視点を当てながら、深めていきたいと思えます。「見立て」なき関わりは、時として努力が報われず、学習性無力感(うつ症状)を引き起こすこととなります。「見立てる力」を養うことは、保育者自身を守ることにもつながります。本講座が、皆様の「安心感」を育む場になれば幸いです。

特別企画

9月9日(土) 18:30～19:45 料金1,000円

アバンセホール

「いのちと夢のコンサート」 講師 弓削田健介

放浪の合唱作曲家。「いのち」と「夢」をテーマに全国を旅しながら年間150～200回のコンサート&各地の合唱団に楽曲を提供しているスタイルから「音楽版 山下清」と呼ばれています。幼児、小学生、中学生、高校生、大人からお年寄りまで…年齢に合わせた内容の講演会とライブを行います。

プロフィール(一部)

2007年 教科書掲載絵本「いのちのまつり」のテーマソングを作曲。

2013年 音楽の友社より「弓削田健介作品集(楽譜&CD)」を出版。Amazonの部門別ベストセラーランキングで1位獲得。

2015年 音楽芸術社より「弓削田健介作品集(楽譜&CD)」を出版。

分科会・市民講座Ⅰ・Ⅱ 9月10日(日)

Ⅰ 子どもの生活と発達を踏まえた保育を創造するために

① 0歳児保育

- ・0歳児の発達にとって何を大切にしたら良いかについて深め合おう。
- ・0歳児の健康・身体づくりにとどのように取り組み、どうコミュニケーションを図っていけばよいかについて深め合おう。
- ・0歳児の発達を保障するために、どのような条件を整備し、体制を作っていくとらよいかについて深め合おう。

運営委員 田中洋・南條恵・沼田史・藤田一郎

② 1・2歳児保育

- ・1、2歳児の生活と育ちの実際を把握し、子どもが安心して生き生きと過ごすために何が求められているかを考え合ひましょう。
- ・1、2歳児の発達を保障する保育のあり方を、実践記録をもとに深め合ひましょう。
- ・保育者と子ども、子ども同士の関係づくりと共に、保育者同士や保護者とのよりよい関係を、どのように築いていくかについて考え合ひましょう。

運営委員 小池亜津子・前田晶子・木戸美樹・大津宏美

③ 3歳児保育

- ・3歳児クラスの新年度どのような配慮が必要となるのか、新入園児だけでなく、2歳児クラスからの移行の子どもへの意欲と不安への対応についても考え合ひましょう。
- ・3歳児の生活と育ちをとらえ、見通しをもった保育をどのように行っていくのかについて話し合ひましょう。
- ・保育者と子どもとの関係、子ども同士の関係をどのようにつくっていくのかについて学び合ひましょう。
- ・保育者同士や保護者との関係をどのようにつくるのかについて探っていきましょう。

運営委員 大元千種・甲斐久代・阿南寿美子・山元圭子

④ 4・5歳児保育

- ・いろいろなたいへんさを抱えた子どもたちも増えていますが、4、5歳らしい楽しい活動をぐり、どの子もクラスの仲間として育ちあう保育実践を学び合ひましょう。
- ・子どもの育ちや保育を豊かなものにする為、保護者や地域等をまきこんでいった実践を交流し、学び合ひましょう。
- ・進級や就学への接続を見据えた保育をどう進めていくか、話し合ひましょう。

運営委員 堀江きよみ・石本恵子・金子幸

⑤ 異年齢保育

年齢別保育も異年齢保育も両方大切ですが、学びあい育ちあう保育の広がりや深まりは異年齢保育に独自のものがあります。年齢の違いを超えて、お互いが支え合う保育の営みをもっと大切にしたいものです。

異年齢保育は異年齢クラス編成だけでなく、年齢別クラス編成によって行われる異年齢交流、あるいは生活と遊びに分けて行っている園もあります。この分科会では、色々な取り組みが紹介されますので、それぞれの園で参考になる実践が学べる良い機会となるでしょう。

運営委員 坪井敏純・川上隆子・鍋田まゆ・島田知和・奥村智美

⑥ 保・幼・小の連携と学童期

- ・人間らしく幸せに生きる力の基礎が幼児期に培われます。「子どもらしい子ども時代」を守り、学び遊ぶ権利の主体として子どもを育む実践を交流しましょう。
- ・幼・保の保育実践と小学校の教育実践・学童保育の実践を出し合い、連携について実践交流をしましょう。
- ・子どもを真ん中に、保護者・保育者・教師・地域のつながりをどのようにして築いていけばよいか語り合ひましょう。

運営委員 嶺村久美子・田淵久美子・大滝喜和子・松村奈留美・鍋倉功

⑦ 障がい児保育

- ・障がいのある子どもの生活と保育の実態は、どうなっているのでしょうか。
- ・障がいのある子どもの発達を保障する手だてには、どんなことがあるのでしょうか。
- ・クラスの子どもの育ち合いを、どうつくり出していけばよいのでしょうか。
- ・保育者と保護者・関係機関の連携は、どうあったらよいのでしょうか。

運営委員 米衛政光・石本隆士・渡辺裕子・大迫より子・渡邊美紀乃・井川みはる

Ⅱ 基本となる保育内容と活動を豊かにするために

⑧ 集団づくり

集団づくりは、みんなの話し合いや協力で困難を一つひとつ解決して、園での子どもたちの生活と文化をつくりあげていく取り組みです。その中で仲間と生きる民主的な社会の主人公としての知恵と力を獲得していく活動です。子どもと集団の分析の仕方、集団活動を指導していく原則などを実践記録をもとに学び合ひましょう。

運営委員 脇信明・古庄範子・古林ゆり・神崎真由美・大石八重

⑨0・1・2歳児のあそびと生活

- ・0、1、2歳児の発達を保障する心地よい生活をつくり出すための保育実践とは。
- ・0、1、2歳児のあそびとはなにか。そのあそびを保育者はどのように創り、発展させていったらよいか。
- ・0、1、2歳児の生活とあそびを充実させるための保護者との連携、保護者集団づくりをどうすすめるかなどの課題をみんなで考え合しましょう。

運営委員 菱谷信子・川内良子・西本紫舞・小濱田さち子

⑩3・4・5歳児のあそびと生活

- ・あそびの重要性が再び主張されている今日、幼児はあそびや生活・仕事の取り組みの中で、どのように自分づくりをし、なかまとどのようにあそびや生活や仕事を組織し発展させていったらよいか。
- ・九州各地の幼児のあそびや生活・飼育・栽培などの仕事の取り組みを交流しあひましよう。

運営委員 竹腰美佐子・前田明・山並啓・前田志津子・河野秀子

⑪子どもの生活と美術・造形

幼児期の豊かな表現活動を引き出すために各実践が何を問題にし、どういうことが明らかになったのか具体的に議論します。絵や造形表現のとらえ方だけでなく、その指導に対しては様々な考え方や実践方法があるだけに、それぞれの立場を大事に、共通点や相違点を実践の中で確かめていくことも重視しています。

運営委員 宮本文香・里玲子・高田百合・甲斐幸恵・柳井文香

⑫子どもの生活と音楽

子どもの心をひらき、うごかし、子どもを育てる音楽。その音楽をどう子どもに出会わせ、渡し、保育の力にしてゆかかを学び合ひましよう。運営委員 山並道枝・毛谷村裕子

⑬文学（絵本・劇遊び）

- ・子どもたちに絵本やお話の世界の豊かさを伝えるための保育者の役割
- ・絵本・お話の遊び方、与え方
- ・生きる力になりうる文学とは

運営委員 柳原志州・八尋理恵・佐伯由佳

⑭身体づくり・運動

身体を思いっきり動かし、友達とかかわりながらあそぶことを通して、子どもたちは心も身体もたくましくなっていきます。一方、「子どもが変わった、親が変わった」といわれるあそび・生活の変化にともない新たな実践課題も指摘されています。そうした発達課題、生活課題を子どもたちがワクワク、ドキドキするようなあそびを参加者みんなで考えましよう。運営委員 鐘ヶ江淳一・池田公・福井英二・坂本慎也

⑮健康・食・生活リズム

食べることは、生きること、そして保育の中でも重要な分野、あふれる食情報の中、食の大切なものを認識しながら、食で困っている親子支援、食情報を提供してきた分科会です。アレルギーへの取り組み、衛生問題、離乳食の進め方、食材料の選び方、食育など毎年多くの取り組みが報告されています。運営委員 松下賢治・二宮直子・中村千恵

⑯保育計画と園の行事

実践に役立つ保育の計画(保育課程や指導計画)の作成や記録の取り方について幅広く学び合う分科会です。

- また、各園で行っている行事について、実践をもとに振り返り、意見交換します。今集会では下記の議論が予定されています。
- ・2018年度から施行予定されている新保育所保育指針の内容や背景
- ・行事の見直しから始まる保育実践と職員間の合意形成
- 保育の計画づくりや行事のあり方について、みんなで語りあひましよう。

運営委員 吾孫子幹・清水陽子・和智延代・上原真幸

⑰乳幼児期の平和教育

平和的人間の形成は現代の教育の原点になるべきものといえます。平和と民主主義が危機にさらされている今、乳幼児期からの取り組みが求められています。平和を愛する心を育む平和教育は子どもの誕生の瞬間から始まります。おとなに愛されているという安心感や自己肯定感を育むことも仲間と話し合う力を培うことも平和の心を育てることにつながるものです。日常の保育をあらためて平和教育の視点からとらえ直してみることから始めていきましょう。

現代に生きるおとなとして平和のためにできることを語りあひまよう分科会を一緒に創っていきましょう。運営委員 黒川久美・船越美穂・佐藤和・前原祐子

Ⅲ保育要求の実現と保育条件改善のために

⑱子育て支援とネットワーク

親の子育て、保育園・幼稚園での集団の中で子どもの育ちも大変厳しい時代に入ってきました。子育て広場や子育て支援センターなどでの取り組みも踏まえながら、乳幼児期から思春期までを見通した地域全体で子育てネットワークづくりを共に考えていきましょう。運営委員 山口雅子・上野真理・小西祐馬

⑲保育政策と保育運動

2015年4月からスタートした新制度は、すべての子どもに良質の保育をと言いつながら2年が過ぎました。待機児解消を理由に、小規模保育所が数多く新設され、3歳児の壁が問題になっています。企業主導型保育所においては、無認可保育所で市町村の関与はまったくなく、保育士の配置基準もB型でいいなど、保育の質は置き去りにされ補助金だけが認可並みに支給される状況です。このように多様な形態の保育事業ができ、保育の規制緩和が進む中、子どもの保育に地域間格差が増大していることは大きな問題です。一方、保育士不足の中、処遇に関しては大幅な賃金改定はなく、掛け声だけに終わっています。九州各地の現状や運動を交流し、子どもの未来を切り開くことを展望し議論しましよう。運営委員 建川美徳・吉富利子・愛甲明美

⑳親の悩みと保護者会活動

- ・保護者会の運営の仕方や内容、役員選び方など具体的な内容が知りたい、などみんなで話し合ひましよう。
- ・九州各地に保護者会の連絡会が活動しています。経緯交流や組織運営を考えていきましょう。運営委員 松木朋子・江玉睦美・甲斐清美・石井克典

Ⅳ交流会

㉑よりよい保育と職場づくり（園長・主任）

園の経営や職員集団づくりは、園長・主任の大きな役割です。しかし制度や社会の大きな変化の中、運営がうまくいかなかったり、壁にぶつかったりすることも多いと思います。この交流会では、主に園長や主任を対象として、いろいろな話を皆さんで話し合ひながら交流することを目的としています。何か発見があるかもしれませんよ。運営委員 益田邦子・宮本敦子・長谷裕之

㉒地域型保育

- ・地震などの災害に備え、小規模な保育園だからこそ学んでおくべき救命法を学びましよう。(救急救命士と国際救急法インストラクターから学びます)
- ・待機児童が増え、九州でもますます増えてきた地域型保育事業ですが、保育の質を向上させるため保育者や管理者、または関わる方々で日々の保育の悩みや疑問点、そして意見や情報を交わし、明日からの保育をよりよい保育にしていましよう。
- ・小規模保育、家庭的保育、事業所内保育の保育者や子育て支援員又これから地域型保育に関わりたいたいと考えている方々、どなたでも是非ご参加お待ちしております。運営委員 坂田美和・佐藤レイ子・松本ゆり

市民講座Ⅰ 9月10日(日) 10:00~12:00

「子どもの心がかぜをひくとき—“安心感”と自立—」

講師 吉村春生(西九州大学非常勤講師・臨床心理士)

「なんだか元気がないみたい」、「気分がムラがある」、「指示が通らない」など、いつもと違う我が子が気になる時は、ひょっとすると、心がかぜをひいているのかもしれない。そこで、今回の講座では、そのような心のかぜの早期発見や予防、対処の仕方について、心のしくみや育ち、ストレス反応等に視点を当てながら、理解を深めていきたいと思います。また、そのことを通して、「人間とはどのような生き物なのか。」「自己実現をサポートするためには何か必要なのか。」を探求できればと思います。本講座が、皆様の“安心感”を育む場になれば幸いです。

市民講座Ⅱ 9月10日(日) 13:00~14:50

「心とからだ喜ぶ食」

講師 鬼塚幸子(米米くらぶ)

日本には四季があり、季節の移り変わりとともに食材が変わる。旬の食材は新鮮で美味しく、彩や香りで五感を刺激してくれる。主食は米がいい、どんなおかずにも合うから。旬の野菜や海藻中心のおかず、だしをとると味わいが深まり、香りは食欲をそそり、心が落ち着く。発酵食でもある日本の調味料は腸内細菌を整え、健康につながる。日本人が昔から食べてきた「和食」は美味しく健康食。経済的で、簡単に作れるものが多い。基本は「和食」。幼い時からの食育は一生を左右する。正しい食選、確かな食術の出来る子ども達を育てたい。

閉会集會

《日時》 9月10日(日)

15:00~15:40

2日間学びを深めることができただしょうか。この学びを明日からの保育や子育てに活かしましよう。

次の開催は長崎集會となります。佐賀から長崎へ思いを込めたバトンタッチの企画もあるのでお楽しみに！

参加申し込み方法・費用について

1.参加費

- 両日参加／5,500円(事務手数料含む)
- 1日参加／3,300円(事務手数料含む)
- 学生／1日 1,000円 2日間 2,000円
- 市民講座のみ／1,000円(1講座あたり)
- 特別企画／1,000円

※事務手数料は、データ集計・印刷・郵送などの諸経費に充当させていただきます。

2.弁当代

- 10日(日) 昼食／大人800円(お茶付き)
子ども500円(アレルギーの対応はできません)

3.保育

- 2歳以上／1日1,000円
(おやつ、保険料含む／昼食代は別になります)
※予約のない場合はお預かりできません。
当日の保育キャンセルの返金はできません。
 - 9日保育受付 佐賀市文化会館<佐賀市日の出1-21-10>
 - 10日保育受付 精(しらげ)幼稚園<佐賀市与賀町64>
(佐賀大学本庄キャンパス正門より徒歩5分)
- ※保育申込者の10日のお弁当は精幼稚園でお渡し致します。
幼稚園内で食事ができます。

4.参加と宿泊の申し込み方法

- ①参加及び宿泊、弁当、保育の申し込みは、「参加申し込み要項」をご覧ください。別紙「参加申込書」に必要事項をご記入し、FAXにて下記「名鉄観光」へお申し込みください。
- ②お申込み後、請求書をお送りいたしますので、振込にてお支払ください。尚、振込手数料は参加者負担とさせていただきますのでご了承ください。
- ③お振込確認後、チケット類(参加券、宿泊券、お弁当券)を発送いたしますのでご確認ください。

5.申込み締切日 **2017年8月4日(金)**

6.キャンセルについて 別紙「参加申込書」をご参照ください。

《個人情報の取り扱いについて》

お申込み時にご記入頂きました個人情報については、今集会に係る目的以外での利用は致しません。予約の為の関係施設への情報提供につきましてはご了承ください。

●交通のご案内

<佐賀市文化会館>

佐賀駅「北口」より 約1.5km 徒歩20分
最寄りバス停 市文化会館前

<アバンセ>

佐賀駅「南口」より 850m 徒歩10分
佐賀市文化会館より 約2.1km 車で約7分

※佐賀市文化会館からアバンセまでバスを運行します。ご利用は別紙申込書にてお申込みください。事前にチケット購入が必要です。

<佐賀大学本庄キャンパス>

佐賀駅バスセンターからバスで約15分(4番乗場の市営バス)
【4番】佐賀女子短大・高校線(中央通・辻の堂・佐賀大学前経由)
【11番】佐賀大学・西与賀線 / 【12番】佐賀大学・東与賀線
【63番】佐賀女子短大・高校線(紡績通り・与賀町・佐賀大学前経由)
車での来場は、南入口(国道208号線/南部バイパス)よりお入りください。(北入口(正門)からは入れません)学内駐車場(有料)には限りがあります。できるだけ公共交通機関をご利用ください。

<精幼稚園> ※10日保育室受付と、分科会「⑩子どもの生活と音楽」
車での来場は、ゆめマートとスターバックスの間の道から入ってください。駐車場は、精幼稚園運動場および泰長院の広場が使用できます。



<参加申し込み・お問い合わせ先>

名鉄観光サービス株式会社 福岡支店「第47回九州保育団体合同研究集会」係 担当：井浦・吉住
〒812-0011 福岡市博多区駅前1丁目2番5号 TEL 092-451-8811(営業) / FAX 092-432-3600

■主催 第47回九州保育団体合同研究集会 佐賀集会実行委員会

事務局：〒842-0103 佐賀県神埼郡吉野ヶ里町大曲1481-1 山口邦孝
TEL：090-5294-2744 E-mail：hf988x@bma.biglobe.ne.jp

■後援 佐賀県/佐賀県教育委員会/佐賀県保育会/佐賀県私立幼稚園・認定こども園連合会/佐賀県社会福祉協議会 NHK佐賀/サガテレビ/佐賀新聞社/西日本新聞社/佐賀県親と子の読書協議会(2017年3月31日現在)